



卍解!!

読書感想文(全74巻)

2021年9月約2週間かけてBLEACHを読みました。あまりに良すぎて何度も「帯人ー!!」と泣き叫んだので感想文としてここに残します

<何故読んだか?>

2021年8月に発売されたジャンプにBLEACH連載開始20周年記念として新作読み切りが掲載され周りの人が大騒ぎをしているのを見てもしかしてこれを読んだことばない自分は人生損しているのでは...?と思ったため。

<この時点での自分の認識>

- ・イチゴという名前の主人公
- ・卍解(ばんかい)という技がある
- ・コマがめちゃ大きい
- ・ラスボスはきっとこの人(ネットをよく見るので)



<読後解ったこと>

- ・ラスボスどころか味方やし愛らしいし格好良し70巻の涅ムとのやりとり(ムが身を呈してマユリを守って散るシーン)で大号泣
- ・確かに主人公は黒崎一護だが出てくる人達全員実質主人公
- ・コマは全く大きくなく、コマ割が計算しつくされている
- ・48巻で大きな山場を越えてもうこれ以上の展開はないだろうと思ったけど、めちゃくちゃあった。
- ・49巻から表紙の作者名が「久保帯人」から「Kubotite」になった。
- ・久保帯人先生引越しまくり。



ハンテコ帽子



イチャゴ



<印象に残ったシーン>
・チャド(茶渡泰虎)覚醒(5巻)
一揆人であるチャドが虚に襲われる中突然回想シーンが始まり死亡フラグ...?と悲しんでいたら能力が覚醒して虚をやつけた。BLEACHで初めて「帯人ー!!」と叫んだシーンです。

・涅マユリ登場(14巻)
勝手にラスボスだと思っていたので「えっもう出てきたん?」と思うヒマも実際無かったほどに第一印象最悪。まさかこの随分後にマユリに泣かされるとは思ってもみなかった。

・一護パピヒの正体判明(21巻)
ただの陽気な父だと思っていた黒崎一護(一護の父)が実は死神だと判明するシーン。

・井上織姫の告白(27巻)
井上さん一護(寝てる)に別れを告げるシーン。

人生が5回あったらやってみたいことをいろいろ言って最後に「5回とも同じ人を好きになる」って言ってもう本当にめちゃくちゃ泣いた。

・櫛佐木修矢の「69」(36巻)
最推しの櫛佐木の顔に刻まれている「69」の由来がサラッと描かれていて尊すぎた。私も顔面に「69」って刻もうかな。

・櫛佐木の始解(38巻)
斬魄刀「風死」を出した後の「見るよこの形...命をメリ奪う形をしているだろ?」と言った時の表情が...!良すぎて...! 帯人ー!!!

・なんかもうすごすぎ(48巻)
展開がすごすぎ。ギン...! お前! お前... 奴は...!! そして破面編が終わって放心状態

この藍染の見た目好き →



・ルキアに嫉妬する織姫(23巻)
全編通して2番目に好きなシーン。
一護への想いを語る井上さんの揺れる動きの描写を、表情ではなく足の指先の動きで表現したとんでもなく胸がトキメいたシーンです。

・重國ド——ン!!! (57巻)
一番好きなシーンです! 各隊長達が卍解の力を奪う強敵に苦戦し圧倒的不利な状況の中登場した更木剣八。もともと卍解を使わない剣八はあつという間に敵を3人倒します。ヨッシャ剣八行け行けー!!と興奮していると次の登場コマでユーハバッハに剣八が倒されて...えっもうこんな絶対無理やんと絶望しながら1ページめくると...

山本元柳斎重國ド——ン!!!
見開き2ページ使って描かれた大迫力の登場シーンがあまりに格好良すぎて1回本をパターン!と閉じてしまったほど...

重國ドーン!! 私、本パターン! 涙ツカーッ!! 全身ブルブルー!! お茶ゴクゴクー! 深呼吸フー! という流れを連続5回ほど繰り返して続きを読むと戦闘シーンも最高すぎて泣き叫んだ。「残火の太刀」はぜひ体得したい。

・粕村左陣おかの人化(62巻)
とてつもない苦しみを代償に「粕村が人化(イケメン)」。その粕村が放つ卍解「黒縄天譴明王断鎧縄衣」技の発動と同時に表示される今話のサブタイトル「命はとうに置いてきた」に大号泣。戦いを終えて犬になってしまった粕村と射場副隊長のやりとりも泣ける。



・バズビー死す(70巻)
いやもういろいろあった上でのバズビーの死ぬ間際のセリフと表情が... (号泣)

・涅ム「使命です」(70巻)
涅マユリによって造られたムがこれまではマユリの線り人形のような描き方をされてまた中、いかにマユリにとって大切な存在であるかが判明するくだりと、それまでマユリの命令によってしか行動してこなかったムが命をかけてマユリを守る時にその行いを「使命です」と言い切るシーンに号泣。

「帯人——!」って大絶叫。

・「黒崎一護に視えているか」(74巻)
まさかの藍染が一護と共闘。表情も良し... 藍染のこと全部許した。



<最後に>
全巻読み終えて改めてジャンプ8月号の読切を読んで、起きている事態の大きさに慄いています。一護や隊長の「その後」が丁寧に描かれていてニコニコしながら読み進めていたらまさかの展開に... エッこれだけ伏線残したってことは新章の連載くる...? めちゃくちゃ嬉しいけど久保先生の体調も心配なのでどうが御無理なならず...! 連載開始20周年という年にこの作品に出会えて幸せでした。コスプレしたすぎ〜!!

2021.9.19. Tomro (おしまい)